

# ろう者から見た「多文化共生」

## ——もうひとつの言語的マイノリティ

佐々木倫子 編

定価 2,400円+税 ISBN 978-4-904595-24-4 46判 上製 354頁

▽ろう者とは誰か？そして、何が彼／彼女たちを不可視の存在としてきたのか？

本書は、「手話」を切り口に、言語的・文化的マイノリティとしてのろう者の存在と、その課題を明らかにする。言語的少数者としての自らの存在を高らかに謳った「ろう文化宣言」(1995年)は、多くのマジョリティの日本人に衝撃を与えた。しかし、十数年を経た今日、手話は不完全な言語であり、ろう者は矯正あるいは治療の対象であるという言説は、いまだ主流をなしている。ろう者(Deaf)とその家族、コーダ(CODA)など当事者による証言は、そうした言説の下における苦難の道程を浮き彫りにする。法律・言語・教育の専門家による論考からは、日本手話が日本社会の一言語であること、そして、ろうの子どもたちには、第一言語としての日本手話と社会参加するための書記日本語のバイリンガル教育を保障するべきであることが、見えてくるだろう。

はじめに—「ろう者」と「手話」と「多文化共生」 佐々木倫子

### 第一部 日本手話話者の道のり

- 一章 日本手話を第一言語とするろう者の道のり 木村晴美
- 二章 ろう親をもつコーダの道のり・手話通訳者の道のり 宮澤典子
- 三章 ろう児をもつ親たちの道のり 玉田さとみ
- 四章 言語権をめぐる道のり 小嶋勇

### 第二部 自然言語としての日本手話

- 五章 脳が示す自然言語としての日本手話 酒井邦嘉
- 六章 文法が示す自然言語としての日本手話 赤堀仁美・岡典栄・松岡和美
- 七章 世界における自然言語としての手話 森壮也

### 第三部 「多文化共生」を標榜する社会を変えるために

- 八章 ろう教育のこれから 樫陽子
- 九章 ろうコミュニティのこれから 田門浩
- 十章 言語教育政策のこれから 古石篤子

### 第四部 座談会—ろう者の歩んできた道のりと今後

ろう者の文化・言語の位置づけ—ろう者の文化・言語はどのように位置づけられてきたか 今後、どのようにあるべきか  
 久松三二(全日本ろうあ連盟事務局長)／川島清(Dプロ代表)／  
 末森明夫(日本手話学会副会長)／田中慎也(日本言語政策学会会長)／  
 佐々木倫子(桜美林大学言語教育研究所長一司会)



### シリーズ 多文化・多言語主義の現在

言語研究・言語教育にかかわる者、あるいは多文化主義にかかわる者が、行政関係者、経済界、異領域の研究者、そしてなによりも当事者とそれを支援する市民との対話をとおして、多文化主義・多言語主義を批判的に問い直す。

〈既刊〉

**人間成長を阻害しないことに焦点化する教育学**  
 いま必要な共生教育とは 高橋舞 著 3,780円

**「移動する子どもたち」のこことばの教育を創造する**  
 ESL教育とJSL教育の共振  
 川上郁雄・石井恵理子・池上摩希子・齋藤ひろみ・野山広編 2,520円

**移民時代の言語教育** 言語政策のフロンティア 1  
 田中慎也・木村哲也・宮崎司 著 2,520円

**「開かれた日本」の構想**  
 移民受け入れと社会統合 北脇保之 編 2,520円

〈近刊〉

**目指せ！琉球諸語の維持** (仮)  
 下地理則・P.ハイブリッヒ 編 予価 2,520円

### 【ご注文方法】

本チラシをご持参の上、最寄りの書店へご注文ください。直送をご希望の方は、お名前と送付先を明記し、FAXまたはEメールにて弊社までご注文ください。直送の場合、送料が一律300円かかります。  
 [fax 03-3269-5438 E-mail info@cocopb.com]

番線印	
ご担当	様

# ろう者から見た「多文化共生」——もうひとつの言語的マイノリティ

佐々木倫子 編

定価 2,520円(本体2,400円+税) ISBN 978-4-904595-24-4

### 【書店様へ】

弊社に本注文書をFAXください。[fax 03-3269-5438]  
 取次は、日本出版貿易です。その他取次店へは、日本出版貿易経由となります。  
 日本出版貿易とお取り引きがある場合は、直接日本出版貿易にお問い合わせ  
 いただいても結構です。

